

福祉 いみず

テーマ

地域共生社会 共に生きる

「誰もが暮らしやすいまちってどんなまち？」
について、ボードに書いていただきました。



こどもから高齢者まで
世代をこえた
地域の居場所

カレーライスに唐揚げなど、
みんなで美味しくいただきました。



七美地区キッズサロン NANAMI

こども食堂のスタッフ&参加者の皆さん

月1回、地域食堂として子どもから高齢者まで
気軽に集える地域の居場所づくりを行っています。
今回は、料理を作ってくださっている地域の方
にキーホルダーを作ってプレゼントし、『ありがとう』
の感謝の気持ちを伝えました。

つながる社協 つなげる社協

 社会福祉法人 射水市社会福祉協議会

〒939-0351 射水市戸破4200番地11
救急薬品市民交流プラザ2階 総務課 ☎55-5201
<E-mail> honsho@imizushakyo.jp
<ホームページ> <https://www.imizushakyo.jp/>



ホームページ



Instagram

特集 いみず地域共生プランについて ... p2,3

- キラキラきりり人 (地域の福祉人材の紹介) ... p4
- すてっぷからのお知らせ p5
- 芸能ボランティア登録者の募集について ... p6
- 令和8年度 事業計画・予算 p7
- 社協からのお知らせ p8



誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ち、
自分らしく笑顔で暮らしていけるよう取り組みを深化するため、
現状に合った内容に見直しを行いました。

いみず地域共生プラン

支え合ひ、地域をともにつくりかへよう

- 第2次射水市地域福祉計画
- 第3次射水市地域福祉活動計画

地域福祉計画と地域福祉活動計画

「地域福祉計画」は市が示す地域福祉の方向性、「地域福祉活動計画」は社会福祉協議会が住民目線で進める民間の行動計画です。目的は同じで、行政・住民・団体などが役割分担しながら協力できるよう、一体的に作られています。

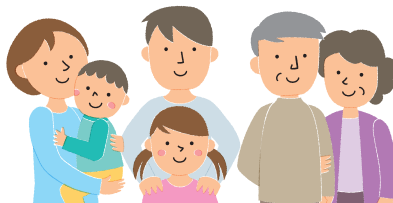
射水市と射水市社会福祉協議会は、これからの多様な地域課題に対応するため、両計画を連動させて地域福祉を進めていきます。

いみず地域共生プランに含まれる計画

地域福祉の推進と関係が深い4つの計画を含めるものとし、地域福祉や関連する分野の取り組みと連動させて推進していきます。

- 射水市重層的支援体制整備事業実施計画
- 射水市認知症施策推進計画
- 射水市成年後見制度利用促進基本計画
- 射水市再犯防止推進計画

基本理念



みんながつながり支え合う **笑顔**でいきいき暮らせるまち **射水**

基本目標1

ともに支え合う人づくり

‘お互い様’の気持ちで、誰もが地域で支え合う心を
育んでいるまちを目指します！

1. 地域福祉活動の担い手の育成・確保

福祉教育の推進・福祉意識の醸成における 社協の取組

子どもから大人まで誰もが役割を持ち活躍できる地域を目指し、福祉を身近に感じられる機会をつくり参加を促します。

事例

小学校で車いす体験を行った児童の感想
「ちょっとした段差でも不安に感じた」
「障がいがあってもなくても相手を気づかうことができる思いやりの心が大切」



2. 福祉人材の育成

中間見直し版

(令和8年度～令和12年度)



こちらからご覧いただけます



基本目標2 安心して暮らせる地域づくり

多様な人がつながり合い、支え合い、安心して暮らせるまちを目指します！

1. 住民主体の活動環境の整備

ケアネット活動の推進における社協の取組

地区社会福祉協議会を中心に、子どもからお年寄りまで支援を必要とする人に対して、地域住民と関係機関が一体となって見守りや生活支援を行うケアネット活動を推進しています。

事例

ケアネット活動による声掛け

「元気になっていますか」と話をしながら、変わった様子がないか見守っています。



2. 地域の交流の場や居場所の整備

3. 権利擁護の推進

4. 誰もが暮らしやすい地域の環境づくり

5. 災害時の支援体制の整備

基本目標3 自分らしく生活できる仕組みづくり

困ったときに誰もがどこかにつながる仕組みがあり、その存在がみんなに行き届いているまちを目指します！

1. 多様な課題に対応する支援体制の構築

包括的な相談支援体制の整備における社協の取組

ふくし総合相談センターすてっぷを中心に、ボランティアセンターやケアネット活動と連携し、地域の関係者と専門職のつながりを強化し、包括的な相談支援体制づくりに努めます。

事例

8050世帯へのネットワーク支援

地域包括支援センターと連携し、母の介護予防・サービス調整を行うとともに、世帯の家計改善、息子の気持ちの聞き取りを行いました。

住民の困りごとを
キャッチ

早期発見

連携・調整

ネットワーク
支援

相談支援

専門の
相談員が
対応

福祉人材
育成

地域のよき
理解者・支援者の
養成

社会参加

ボランティア活動や
ハローワークと
連携した就労支援

2. 福祉分野以外との連携

3. 福祉サービス事業者への支援

4. いみず・みんなで・つなぐっと(good) 事業の推進

看護師から相談支援専門員へ

～障がいのある方の人生をそばで見守っていききたい～

キラキラ
きらり人

一般社団法人シビックプライド
シビックプライド新湊相談支援事業所
相談支援専門員 魚津 由美子 さん

魚津さんは、28年間看護師として総合病院で勤めた後、令和4年4月にシビックプライド新湊相談支援事業所を立ち上げ、障がいのある方が自立した生活を送ることができるよう相談に応じています。



地域福祉を担うキラキラさんを紹介するコーナーです。今回は、相談支援専門員の魚津さんに、仕事内容や仕事の魅力などをお聞きました。

どんな仕事をしていますか？

射水市や高岡市に住んでいる障がいのある子どもから大人までの相談支援を行っています。どんな生活を送りたいか本人の意向をふまえて、総合的な援助方針や福祉サービスの利用計画を立てています。

相談支援専門員を目指したきっかけは？

もともと「困っている人の役に立ちたい」という思いがあり看護師を目指しました。地域包括ケア病棟の担当として退院調整を行う際、「退院後は地域でどのような生活を送っているのだろう」と考えるようになりました。

そこで、看護師の経験を活かして、障がいのある方の長い人生をそばで見守り寄り添うことができる仕事がしたいと考え、相談支援専門員を目指しました。

相談支援専門員のやりがいや大切にしていることは？

利用者宅を訪問する際に、「会えるのを楽しみに待っていたよ」と言われたり、嬉しい報告を聞くことができたりするとやりがいを感じます。

仕事をする上でのモットーは、本人が思っていることを大切にすることです。失敗してもまた次があるので本人の意思を尊重し「応援しているよ」「1人じゃないよ」と伝えることを大切にしています。相談支援専門員という職種をもっと多くの人に知ってもらえると嬉しいです。

どんな射水市になったらよいですか？

障がいの有無に関わらず、大人も子どもも元気に過ごせる地域になったらいいと考えています。

時代の変化とともに、近所づきあいが希薄になってきたと感じています。挨拶や声掛けが飛び交い、ひとりひとりが安心して暮らせる地域になってほしいと思います。

ある日の魚津さんの1日

- 8:30 ● 出勤
- 9:00 ● サービス等利用計画の作成
● 関係機関との連絡調整
- 10:00 ● 利用者宅訪問(生活状況や意向の確認)
- 12:00 ● 休憩
- 13:30 ● ケース会議(福祉サービス事業者等と情報共有)
- 15:00 ● 利用者宅訪問
- 16:30 ● 書類作成、関係機関との連絡調整
- 17:30 ● 退勤



利用者の相談に応じる魚津さん



相談支援専門員になるには

指定された実務経験と研修修了の両方を満たすことで相談支援専門員の資格を得ることができます。また、5年に1度の更新研修を受ける必要があります。

一般社団法人シビックプライドでは、相談支援事業所だけでなく就労継続支援B型事業所もあり、野球の硬式ボールの修繕や焼き芋販売などを行っています。

家計改善支援事業のご紹介

家計のお悩みを抱えていませんか？



お金が貯まらない

家賃や税金が支払えない

借金の返済ができない

なぜお金が不足してしまうのかわからない

年金だけでは生活が心配



家計の立て直しをお手伝いします

相談無料・秘密厳守
ひとりで悩まず、
まずはご相談ください

- 1 一緒に家計の状況を整理します。(収支バランスや債務の状況を把握)
- 2 相談者自身が課題に気づき、目標に向かって生活を見直します。
- 3 将来、自分で家計管理ができるよう、支払いや返済について一緒に考えます。

活用事例 射水さん(50代・精神障がい者手帳あり)



給与と障害年金で生活していますが、ストレス発散で食事や趣味にお金を使いすぎてしまいます。金額や残高を確認せずに買い物をし、翌月の請求額に驚いて後悔しています。負債や滞納もあるため、お金の使い方について相談しました。

- | 支援内容 |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 毎月の定期的な面談 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 健康・仕事など生活状況の確認 |
| <input checked="" type="checkbox"/> レシートや家計簿の確認 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 負債がどのくらい減っているかの確認 |
| ●面談では、家庭や職場での不安をお聞きし、気持ちに寄り添う支援を行いました。 |
| ●生活費の支払いや負債の返済ができていないかを確認し、翌月の生活に向けて、お金の使い方を一緒に考えました。 |

「車検代を支払うために毎月少額ずつ貯金をする」と長期目標を掲げて取り組みました。すてっぷへの相談をきっかけに家計簿をつけるのが習慣になりました。家計簿を見てお金の使い過ぎに気づき、自分の行動の振り返りと見直しができるようになりました。相談前と比べて、お金を使いたい気持ちにブレーキをかけて生活することができるようになりました。



毎月定例で開催 場所／救急薬品市民交流プラザ(別館)

すてっぷカフェ

ひきこもりなど生きづらさを抱える方が集まって自由に過ごす場所です。

※途中参加、退出自由です。

日時 5/21(木)、6/18(木)、7/16(木)
13:30~15:30

すてっぷカフェ家族会

ひきこもりなど生きづらさを抱える方のご家族(両親・兄弟・親戚など)が集まって自由に過ごす場所です。

※途中参加、退出自由です。

日時 5/23(土)、6/27(土)、7/25(土)
13:30~15:30
※7/25(土)は9:30~11:30開催

ひきこもり相談会

ひきこもりに関する悩みや不安などの相談に専門資格を持った相談員が対応します。

※予約不要。但し、状況により、お待ち頂く場合があります。

日時 5/12(火)、6/9(火)、7/14(火)
13:30~16:30

相談・問合せ先

射水市ふくし総合相談センターすてっぷ
☎55-5203 ☎55-5204(ひきこもり相談専用ダイヤル)
E-mail step@imizushakyo.jp

すてっぷの紹介▶



あなたの特技で、
地域をもっと
元気に！

あなたの『特技』活かしませんか？

芸能ボランティア登録者大募集！

仕事や趣味で培った特技を、地域のイベントや福祉施設で
披露したり、教えたりしてみませんか？

※無償活動(材料費・交通費の実費がでる場合あり)

- ≡活動例
- 歌・演奏
 - 手品
 - ダンス・踊り
 - 手工芸
 - 読み聞かせ
 - 囲碁・将棋

趣味として楽しんでいることが、
地域を笑顔にします！

囲碁や将棋の相手
をしてくれる人が
いないかな

歌や演奏で祭りを
盛り上げてほしい！



芸能ボランティア登録方法

1 登録カードに記入

2 射水市ボランティアセンターで活動内容を聞き取り

3 登録完了！
HPに掲載されます

芸能ボランティア調整の流れ

1 依頼受付

▼ ボランティアセンターが受付し、日時・内容・場所などを確認

2 ボランティア紹介・調整

▼ 依頼内容に合うボランティアを紹介し活動可否を調整

3 連絡先の共有

▼ 日程確定後、依頼者とボランティア者双方へ連絡先を伝達

4 詳細打ち合わせ

▼ 当日の進行や準備物など、依頼者とボランティアが直接打ち合わせ

実際の
活動紹介

オカリナ演奏

サロンや認知症カフェから
依頼を受け活動！

踊り

高齢者施設で披露し
大人気！

問合せ先

射水市ボランティアセンター(射水市社会福祉協議会内)

☎0766-55-5202 ※右記から登録カードがダウンロードできます▶▶▶



心配ごと 相談

日常生活から生じる心配ごと

悩みごとに関する相談

民生委員・児童委員が適切な助言を行います。
予約制ではないので、当日 直接会場へお越しください。

日時 5/19(火)
6/2(火)、6/16(火)
7/7(火)、7/21(火)
13:30~15:30

場所 救急薬品市民交流プラザ
(1階ミーティングルーム)

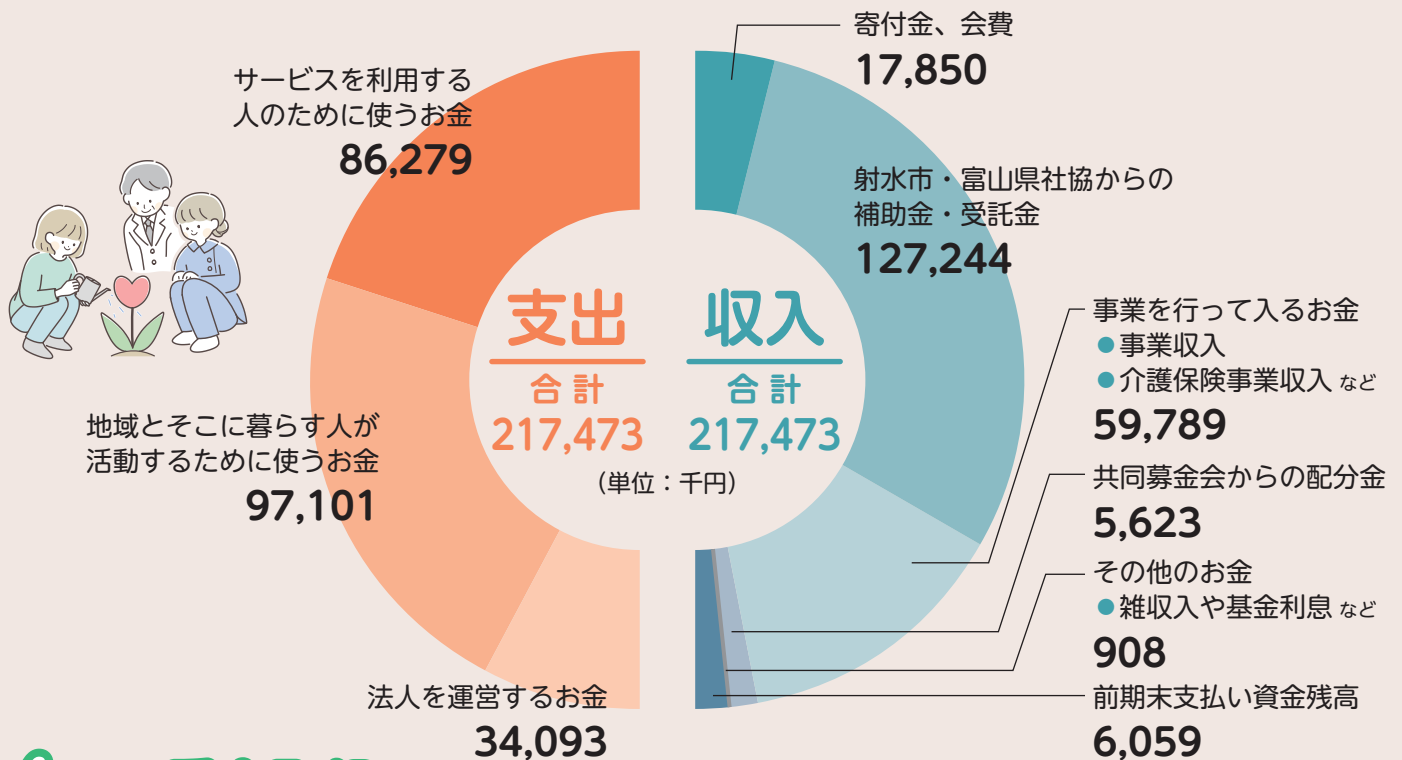
問合せ先 地域福祉課 ☎55-5202

令和8年度 社協の予算と取組

3つの目標

- ともに支え合う人づくり
- 安心して暮らせる地域づくり
- 自分らしく生活できる仕組みづくり

いみず地域共生プランの「みんながつながり支え合う笑顔でいきいき暮らせるまち 射水」を基本理念におき、**3つの目標**の実現に向けて、地域の皆さまとともに職員一丸となって地域福祉を推進してまいります。



4つの重点取組

取組
1

住民主体の地域福祉活動の活性化支援

各地域の実情に即した地域福祉活動を、住民や地域の各種団体と協働・支援しながら活性化し、**より多くの住民が地域づくりに参加できる環境整備**に努めます。また、従来の福祉の枠組みでは対応が困難な生活課題に対して、社会資源等の創設・改善等に取り組み、地域福祉を推進します。

拡充事業 ● ファミリーサポートセンター運営事業など

取組
2

包括的な相談支援体制の機能強化

地域住民の持つ多様化したニーズや複合的な課題を受け止め、**包括的に支援できる相談支援体制を強化**するとともに、制度の狭間にある福祉課題を抱える方などへの**伴走型支援**を進め、総合相談支援体制の構築を図ります。

拡充事業 ● ひきこもり支援事業、就労準備支援事業など

取組
3

福祉教育の推進と実践

地域住民が福祉を身近に感じ、理解を深められる**機会づくり**に努め、各世代に応じた福祉教育の充実を図ります。思いやりの心を育み、地域福祉の理解者・実践者を増やしていきます。

拡充事業 ● ふくし出前講座など



取組
4

多機関協働の強化と持続可能な地域福祉の推進

地域の各種団体や関係機関等との連携・協働をより深化させるとともに、**平時の福祉活動と災害時の支援が連動する体制づくり**を進めます。併せて、職員の専門性向上や組織基盤の強化に取り組み、地域から信頼される社会福祉協議会としての役割を果たしていきます。

拡充事業 ● いのちのバトン・避難行動支援事業など



令和7年度

赤い羽根共同募金のご協力ありがとうございました



昨年10月1日から開始した赤い羽根共同募金の募金額は、皆さまの温かいご支援とご協力により、**総額 11,854,244円**（2月25日時点）となりました。

街頭募金や募金箱の設置、職域募金、学校募金など、多くの皆さまにご協力いただき、心より感謝申し上げます。

また、3月12日には募金にご協力いただいた射水市内の小中学校の代表として、片山学園初等科に感謝状を贈呈しました。

お寄せいただきました募金は、射水市をよくする活動や皆さまが暮らす地域の事業に活用されます。



片山学園初等科の児童会組織「Student Council」の皆さん

クイズ作成 ● いみず脳トレクラブ

脳トレクイズ

もんだい
Question

しりとり迷路です。
初め から 大吉 まで進んでください。
左右、上下に進めます、斜めは進めません。
語尾に「ん」が付くと終わりになります。

初め				
	大吉			

※正解は最下部にあります

お知らせ /

新企画

みんなのひろば

毎号、テーマに関する読者の皆さんの声をお届けする新コーナーです。
次号のテーマは「**ふだんのくらしのしあわせ**」。皆さんが毎日の暮らしの中で感じる「しあわせ」をぜひ教えてください。次号にて一部を紹介させていただきます。

年代、性別を掲載予定です。
氏名は掲載しません。

プレゼントクイズ

ヒント!
福祉に関するマークです。

QUIZ
下のイラストは何のマークでしょうか?
①②③の中から正解を選んで番号をご回答ください。

クイズの正解者の中から
抽選で3名に **図書カードをプレゼント!**
(500円)

プレゼントクイズ の応募はこちらから

ハガキ、FAXでの応募は下記の事項を記載の上、下記あて先までお送りください。

①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
⑥本誌の感想(良かったコーナー名と感想や意見などご記入ください)
⑦あなたにとっての「ふだんのくらしのしあわせ」

あて先	応募締切
〒939-0351 射水市戸破4200番地11 (福)射水市社会福祉協議会 「福祉いみず プレゼントクイズ」係 FAX 0766-55-5208	令和8年 6月1日(月) 消印有効 ※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。